



今月新しく入りました。

●一般の本

／黄金（きん）の騎士団（作＝井上ひさし）／復讐したい（作＝山田悠介）／やんちゃな時代（作＝林真理子）／たまゆらに（作＝山本一力）／サランヘヨ（愛する）北の祖国よ（作＝森村誠一）／鏡の顔（作＝大沢在昌）／ナマコ（作＝椎名 誠）／スパイクスーランナー（作＝あさのあつこ）／いねむり先生（作＝伊集院 静）

●子どもの本

／ぼくって王さま（作＝アンネ・ヴァスコ）／ぼくとおおはしくん（作＝くせさなえ）／りんごがコロコロリンコ（作＝三浦太郎）／ダレ・ダレ・ダレダ（作＝越野民雄）／ぼーるころころぼーん どんぐりくんのことばえほん（作＝まつのりこ）／しんかんくん ひっこしする（作＝のぶみ）／こくはくします！（作＝もとしたいづみ）

中でもこの本が **オススメ** です。

県庁おもてなし課

作＝有川 浩



地方には、光がある。物語が元気になる、町、人、恋。とある県庁に突如生まれた新部署「おもてなし課」。観光立県を目指すべく、若手職員の掛水は、振興企画の一環として、地方出身の人気作家に観光大使就任を打診するが…。「バカか、あんたらは」。いきなり浴びせかけられる言葉に掛水は思い悩む。いったい何がダメなんだ!? 掛水とおもてなし課の地方活性化にかける苦しくも輝かしい日々が始まった。

おじいちゃんちのたうえ

作＝さこ ももみ



今日は田植えの日。しょうたろうもおじいちゃんの家で田植えを手伝います。田植えは思ったよりもずっとたいへんで…。一家総出で行う田植えの様子と春の田んぼの気持ちよさを描きます。



蘭陵王

作＝田中芳樹

北 齊の蘭陵王長恭は、才武くして貌美しく、常に仮面を著け、似て敵に對す。前文の如く西暦五六四年、活躍した蘭陵王は白智長身、眉目秀麗18歳の若武者です。勝たねば生きて還れぬ戦いを獅子奮迅の働きに將軍

美しく、常に仮面を著け、似て敵に對す。前文の如く西暦五六四年、活躍した蘭陵王は白智長身、眉目秀麗18歳の若武者です。勝たねば生きて還れぬ戦いを獅子奮迅の働きに將軍

北 齊の蘭陵王長恭は、才武くして貌美しく、常に仮面を著け、似て敵に對す。前文の如く西暦五六四年、活躍した蘭陵王は白智長身、眉目秀麗18歳の若武者です。勝たねば生きて還れぬ戦いを獅子奮迅の働きに將軍



青葉の笛

作＝あまなぎみこ

平 家物語の中の、切なく美しいエピソードとともに、美しい絵が涙を誘います。源氏の武將、熊谷直実が武功をあげるために、一の谷の戦いで敗走する平家軍を追います。平氏の陣地から澄んだ調べの笛の音を聞き、公達の姿を想い心が

揺らぎますが、振り切り戦いに望みます。若武者と戦い顔を見ると我が子と同じ年頃。逃がそうとしますが、すでに遅く討ち取ります。大切な笛を熊谷に預けた若武者は平家の公達平敦十六歳です。熊谷は、笛だけを持ち仏道に入りました。

春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちがだからこそ、読みたくなる「旬の本だな」シリーズ「旬の本だな」。6月は「若武者」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は加留部君子さん（鞍手町文庫連絡会）です。



調子はいかが？

町立病院 ☎42局1231番



Health

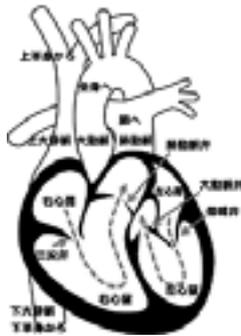
ADVICE



最近、歩くと息切れや動悸がして、足がむくむようになってきました。病院に行った方がよいでしょうか？ (65歳・女性)

【心臓の機能】

心臓は4つの部屋に分かれており、部屋の間には、僧帽弁、三尖弁という弁や、左心室からは大動脈弁、右心室からは肺動脈弁という弁があり、血液が逆流しないようになっています。左心系は、肺から心臓に戻ってきた血液を全身に送り出す働きをし、右心系は全身から戻ってきた血液を肺へ送り出す働きをしています。



【心不全とは】

心不全とは、心臓のポンプ機能が低下し、酸素需要量に

見合うだけの血液量を拍出できない状態であり、肺・体静脈系にうっ血をきたし、生活機能に障害を生じた状態と定義され、「心臓が全身に血液をうまく循環できていない状態」と考えられます。左心系の心不全の症状は、息切れや動悸といった症状が出ます。右心系の心不全の症状は、足のむくみが出現します。それぞれが単独で出現することは少なく、大抵は両方の症状が出現します。

心不全というのは、「状態」を表す言葉であり、「病名」ではありません。原因がわからない場合もある場合、何かしらの原因がある場合もあります。心筋梗塞や狭心症といった動脈硬化が原因で起こる病気や心筋症のように心臓の筋肉そのものの病気が原因となる場合など下表のように原因もさまざまです。中でも、最近注目されているのは、拡張不全による心不全という病態があります。特に、高齢の女性、高血圧症のある人に多いといわれています。

【検査方法と治療法】

心不全の治療は、急性期の治療と慢性期の治療に分けられます。急性期の治療は、症状を薬物によって改善させると同時に原因が何かを調べていきます。原因によっては、薬だけでは難しい場合があります。そのため、特殊な処置が必要となることもあります。慢性期には、予後を改善させる治療、つまり、心臓を長持ちさせる治療を行っていきます。心臓以外が原因の場合の心不全を除いて、一度心不全という状態になると完治することはほとんどなく、心臓を長持ちさせる治療が重要になってきます。検査は、心電図、レントゲン、エコー、血液検査など痛みの少ないものです。早期の発見が、重症になるのを防ぐことになりしますので、早めの受診をお勧めします。

心不全というの、「状態」を表す言葉であり、「病名」ではありません。原因がわからない場合もある場合、何かしらの原因がある場合もあります。心筋梗塞や狭心症といった動脈硬化が原因で起こる病気や心筋症のように心臓の筋肉そのものの病気が原因となる場合など下表のように原因もさまざまです。中でも、最近注目されているのは、拡張不全による心不全という病態があります。特に、高齢の女性、高血圧症のある人に多いといわれています。

心不全の治療は、急性期の治療と慢性期の治療に分けられます。急性期の治療は、症状を薬物によって改善させると同時に原因が何かを調べていきます。原因によっては、薬だけでは難しい場合があります。そのため、特殊な処置が必要となることもあります。慢性期には、予後を改善させる治療、つまり、心臓を長持ちさせる治療を行っていきます。心臓以外が原因の場合の心不全を除いて、一度心不全という状態になると完治することはほとんどなく、心臓を長持ちさせる治療が重要になってきます。検査は、心電図、レントゲン、エコー、血液検査など痛みの少ないものです。早期の発見が、重症になるのを防ぐことになりしますので、早めの受診をお勧めします。

◆心不全の原因

心臓疾患	虚血性心筋症、心筋梗塞、狭心症、心筋の変性、特発性、高血圧性、アルコール性、心筋炎、薬剤性
弁膜疾患	僧帽弁・大動脈弁などの閉鎖不全あるいは狭窄症
不整脈	頻脈性心房細動、高度徐脈など
先天性心疾患	心室中隔欠損など
心膜疾患	心タンポナーデなど
血栓塞栓症	肺血栓塞栓症など
その他	甲状腺疾患、高度貧血など

動悸や息切れ、下肢のむくみなどは心不全でよくみられる症状です。歳のせいなどと済ませず受診をお勧めします。



【アドバイザー】

山下和仁さん・やましたかずひと・平成2年産業医科大学医学部を卒業後、九州労災病院、岩手労災病院などをを経てマイアミ大学に留学。帰国後は、産業医科大学病院などをを経て、平成20年6月から鞍手町立病院循環器科医科長。日本循環器学会循環器専門医。45歳。